

森に入る前に

ルールを守りましょう

どんな森にも、持ち主がいて、入ることが許されている森、許されていない森があり、許されている森でも、それぞれ入る場合のルールがあります。

森に入る場合は、そのルールに従わなければなりません。
茅野市 市民の森のルールは、10ページをご覧ください。

森での注意

自然が豊かということは、いろいろな動植物が生息しているということです。そのような森に入るときには、次のような注意が必要です。



服装の注意

- 長袖、長ズボン、靴を着用し、膚を露出しないようにしましょう。
- 黒い服は避けましょう。蜂は黒い物を攻撃する習性があります。

もし、危険動物・昆虫に遭遇したら

- 蛇(マムシ・ヤマカガシなど)に手を出したり、踏んだりしないようにしましょう。
- 蜂(キロスズメバチなど)は大げさに追い払うなど刺激しないようにしましょう。群れの場合、背を低くし、ゆっくりその場を離れましょう。

もし、噛まれたり、刺されたら

- 慌てず、速やかに茅野消防署(119番)に通報し、指示を仰ぎましょう。
- 通報できない場合は、患部の心臓側を手で軽く圧迫して通報できる場所へ移動するか、直接病院へ行きましょう。現場で市販の吸引器などで毒を吸い出すのも有効ですが、手間取って病院に行くのが遅れないよう注意が必要です。病院に早く行くことを優先しましょう。

山菜・きのこの注意

山菜は根こそぎ(全て)採らない、きのこは孢子が落ちるよう籠を持っていくなど、来年も収穫できるように配慮しましょう。食べる前に山菜・きのこに詳しい人に聞き、疑わしいものは採取しないようにしましょう。

かぶれる植物の注意

ヤマウルシ・ツタウルシなど、触るとかぶれる植物もあります。触れてしまったらすぐに水などで洗いましょう。

ワナの注意

鹿害が問題となっている昨今は、**狩猟期間とは関係なく、ワナが設置されています。**ワナが設置されている場所には表示があります。表示の近くには立ち入らないようにしましょう。

森林整備中の区域の注意

森では森林整備作業が続いています。作業中の表示のある場所は危険です。絶対に近づかないようにしてください。

昆虫観察の注意

自然のものにはすべて生きていくための「適地」というものがあります。その土地ならではの自然環境、それぞれの微妙なバランスの上に生きています。昆虫は、観察したら、元の場所に返してあげましょう。

シカ等侵入防止柵の注意

昨今、獣による田畑の作物、森の植物、樹木、高山植物の被害が問題になっています。

集落と森の境、守りたい植物、樹木、高山植物の囲みなどにシカ等侵入防止柵が設置されるようになりました。

そのような柵があるところにはゲートがありますので、入る時にゲートを開け、入ったら閉めるを励行しましょう。

散策は遊歩道を利用して安全に楽しみましょう。

